

令和7年蔵王町議会定例会3月会議

令和7年2月28日（金曜日）

出席議員（13名）

1 番	平 間 徹 也 君	2 番	宇田川 敬 之 君
3 番	佐 藤 敏 文 君	5 番	藤 澤 麻衣子 君
6 番	葛 西 清 君	7 番	馬 場 勝 彦 君
8 番	村 上 正 文 君	9 番	今 千 佳 君
10 番	松 崎 良 一 君	11 番	外 門 清 君
12 番	伊 藤 雅 代 君	13 番	村 上 一 郎 君
14 番	佐 藤 長 成 君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町 長	村 上 英 人 君
副 町 長	平 間 喜久夫 君
会 計 管 理 者 長	我 妻 敏 君
会 計 課 長	
総 務 課 長	鈴 木 賢 君
防 災 専 門 監	佐 藤 洋 一 君
まちづくり推進課長	高 橋 幸 治 君
町 民 税 務 課 長	川 井 大 文 君
保 健 福 祉 課 長	大 槻 充 夫 君
子 育 て 支 援 課 長	鹿 島 亜 希 君
環 境 政 策 課 長	宮 澤 一 弘 君
農 林 観 光 課 長	佐 藤 敏 彦 君
建 設 課 長	大 槻 健 一 君
病 院 事 務 長	鈴 木 智 子 君

上 下 水 道 課 長	平 間 勝 文 君
教 育 長	文 谷 政 義 君
教 育 総 務 課 長	日 下 光 義 君
生 涯 学 習 課 長	佐 藤 孝 志 君
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	佐 藤 武 憲 君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	山 家 信 行 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	佐 藤 長 也 君
事 務 局 長 補 佐	相 原 宏 美 君

議事日程 第2号

令和7年2月28日（金曜日） 午前10時00分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 諸般の報告

日程第 3 議案第 6号 令和7年度蔵王町一般会計補正予算

日程第 4 議案第 7号 令和7年度蔵王町国民健康保険特別会計予算

日程第 5 議案第 8号 令和7年度蔵王町宮財産区特別会計予算

日程第 6 議案第 9号 令和7年度蔵王町介護保険特別会計予算

日程第 7 議案第10号 令和7年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算

日程第 8 議案第11号 令和7年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算

日程第 9 議案第12号 令和7年度蔵王町水道事業会計予算

日程第10 議案第13号 令和7年度蔵王町下水道事業会計予算

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分 開議

○議長（佐藤長成君） 皆様、おはようございます。

3月会議も今日2日目になります。本日は、当初予算8件上程される予定であります。そしてその後、総括質疑終了後に予算審査特別委員会の設置ということで本日進められますので、よろしくお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますから、議会は成立いたしました。

本日の議事日程はお手元に印刷配付のとおりであります。日程に従い議事を進めます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（佐藤長成君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、10番松崎良一君、11番外門 清君を指名いたします。

日程第2 諸般の報告

○議長（佐藤長成君） 日程第2、諸般の報告をいたします。

本日の会議に説明員として出席を求めた者の職、氏名については、一覧表としてお手元に配付のとおりであります。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第3 議案第6号 令和7年度蔵王町一般会計予算

○議長（佐藤長成君） 日程第3、議案第6号令和7年度蔵王町一般会計予算を議題といたします。

提出者から提案の理由の説明を求めます。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） 皆さん、おはようございます。

それでは、早速であります。ただいま上程されました議案第6号令和7年度蔵王町一般会計予算について提案の理由をご説明申し上げます。

本案は、この後、予算特別委員会に付託され、詳しく審査していただくことになると思いま

すので、全体の概要について申し上げます。

令和7年度一般会計予算は、認定こども園増築・改修事業や、公債費が減額となりましたが、統合中学校建設関連事業の大幅な増額により、前年度より6億2,600万円、7.9%増の85億5,600万円となりました。

それではまず、歳入について、主なものをご説明申し上げます。

町税については、町民税や固定資産税の減額により、前年度に比べ1.0%減の16億9,893万円を計上いたしました。

地方交付税は、全体で7.1%増の24億2,000万円を計上いたしました。普通交付税については、前年度より1億5,000万円の増としたところであります。

寄附金は、ふるさと応援寄附金について、前年度同額の5億円を計上いたしました。

国庫支出金は、公立学校施設整備費負担金の皆増や、デジタル基盤改革支援補助金などの増により、前年度より4億7,650万2,000円増の9億5,456万7,000円を計上したところであります。

県支出金は、公立学校情報機器整備事業費補助金や、参議院議員及び宮城県知事選挙費委託金の皆増により、前年度より6,185万4,000円増の3億6,441万円を計上したところであります。

繰入金は、財政調整基金繰入金や、義務教育施設整備基金繰入金などの増により、前年度より7,960万2,000円増の4億7,206万5,000円を計上したところであります。

町債は、認定こども園整備に伴う施設整備事業債及び臨時財政対策債の皆減により、前年度より1億5,880万円減の13億7,820万円を計上いたしましたところであります。

次に、歳出の主なものを申し上げます。

まず、議会費は1億31万7,000円を計上いたしました。前年度より44万5,000円、0.4%の減となりました。

次に、総務費は13億5,025万3,000円を計上いたしました。情報政策費、賦課徴収費、戸籍住民基本台帳費及び選挙管理委員会費において、国のシステム標準化に伴う各システム標準化導入業務などの増により、1億718万3,000円、8.6%の増となりました。

次に、民生費は20億6,990万8,000円を計上いたしました。新たに物価高騰対策費を予算計上しましたが、おおぞらこども園の開園に伴い、保育所費及び認定こども園整備費が廃目となったことから、1億8,036万6,000円、8.0%の減となりました。

次に、衛生費は6億2,357万8,000円を計上いたしました。ジオパーク推進費において、拠点

施設の整備が完了したことなどにより減となりましたが、蔵王病院運営費の増により7,073万円、12.8%の増となりました。

次に、農林水産業費は1億9,545万3,000円を計上いたしました。向山地区ほ場整備事業用地地形図作成業務に係るほ場整備事業の増により1,662万4,000円、9.3%の増となりました。

次に、商工費は1億9,932万9,000円を計上いたしました。宮城オルレ関連事業に係る観光費の増や、新たに観光活性化基金費を予算計上したことにより1,580万8,000円、8.6%の増となりました。

次に、土木費は6億7,592万3,000円を計上いたしました。町道舗装補修工事に係る道路維持費や、総合運動公園遊具設置事業に係る公園管理費などの増により9,402万3,000円、16.2%の増となりました。

次に、消防費は2億8,881万2,000円を計上いたしました。仙南地域広域行政事務組合消防費負担金に係る常備消防費や、宮班消防団詰所更新事業に係る消防施設費の増により2,208万8,000円、8.3%の増となったところであります。

次に、教育費は26億734万4,000円を計上いたしました。統合中学校建設関連事業に係る義務教育施設整備費の大幅な増により6億6,572万円、34.3%の増となりました。

次に、災害復旧費は、災害発生時の町道や農道・用排水路等の応急修繕に備えるため、773万1,000円を計上いたしました。

次に、公債費は4億1,387万2,000円を計上いたしました。繰上償還額の皆減により1億7,781万5,000円、30.1%の減となりました。

次に、第2表債務負担行為については、新たに19件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、第3表地方債については9件で、総額13億7,820万円を計上いたしました。

また、予算第4条に定める一時借入金については、大規模災害など不測の事態に備えるため、最高額を前年度と同額の5億円に定めるものであります。

以上、予算の概要をご説明申し上げましたが、詳細につきましては、予算特別委員会で慎重にご審議の上、原案どおり可決決定くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（佐藤長成君） 提案理由の説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

本案につきましては、予算特別委員会に審査を付託する予定でありますので、質疑は政策的なもの、あるいは総括的なものについて質疑をされるようお願いいたします。

それでは、質疑ありませんか。8番村上正文君。

○8番（村上正文君） 皆様、おはようございます。

質疑をさせていただきます。

令和7年度一般会計当初予算は総額85億5,600万円で、過去最大だった前年度当初予算を6億2,600万円も上回る超大型予算として提案されました。増額の要因は、町長の提案理由にもあったとおり統合中学校建設関連事業の大幅な増額によるものであります。建設物価の高騰等により、令和5年8月時点で示された校舎・体育館・武道場の建築工事費25億5,000万円が約11億円の追加、造成工事等を含めた総事業費で見ると、約46億円から57億6,600万円に増額しております。これは、最初の基本計画を策定した令和3年3月時点の見込額32億6,900万円に比べると、この4年間で何と約25億円も総事業費が増えることになります。

事業費の増額は、世界的な社会経済情勢の変化や円安の影響等による資材費や燃料費、人件費等の高騰が要因であり、やむを得ないものと考えますが、歳出額が大きくなればなるほど財源としての一般財源が不足することになります。

令和7年度の予算編成も各種基金からの繰入れや町債の高額借入れで賄っており、借入金利率の上昇も相まって、後年度負担が一層重くなっていくと考えられます。

そこで伺います。町長は6期目就任の所信表明で、「将来の世代に負の財産を残すことがないよう健全財政を維持していく」と語っておりますが、膨らみ続ける統合中学校建設事業費の現状を踏まえ、今後どのような対策で健全財政を維持していく考えなのでしょうか。

また、昨日の施政方針で「将来への必要な投資と財政規律のバランスを見極める」と述べましたが、財政状況が厳しくなる中、どのような投資を考えているのかお伺いいたします。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 全く今お話しされたとおりであります。数字的にはもうそのとおりであります。ただ、この5年間の中でおっしゃられるとおり、本当に世界情勢を含めたいろいろな物価等々を含めて、この5年間で本当に25億円も上がってしまったという状況であります。でも、前に進むしかない、そして子供たちに夢と希望と感動を与えるようなそういった、その中で、この前の17日に全協を開かせていただきました。その全協を開いたときに健全化判断比率と地方債の現在高、一般会計の推移であります。そこもお示しさせて……（「していないです」の声あり）していなかったっけ。お渡ししていなかった。（「はい、そうです」の声あり）そうか。一般会計の推移あるんですが、令和7年度から上がってまいります。言ってみれば今年度であります。（「地方債現在高ね」の声あり）地方債の現在高であります。令和8年度が一番ピークを迎えさせていただいて、そして令和10年度から

緩やかに下がってまいります。ですから、現在の令和6年の……令和6年度の数字でまいりますと、（「令和6年度の地方債」の声あり）地方債の関係、令和6年度であります、一般会計51億4,000万円、ピークが令和8年の77億2,000万円です。そして、この令和6年度の51億4,000万円の同じ、大体その辺の数字になってくると、令和21年がこの令和6年度の数字と大体同じぐらいになってくるだろうということで、緩やかにここまで下がってくるということでもあります。

今回の方針を皆さんのほうに出すことができないでしょう。今ではなくて。（「今できますよ」の声あり）今出したってあれだから、総括だから。審議していただくときにこれを出させていただきたいというふうに思っています。健全化判断比率と地方債の現在高、一般会計の推移で令和25年度までつくっております。そうすると、大体令和6年ぐらいのこの辺の数字まで下がってまいりますので。ですから一番のピークを迎えるのは令和8年、9年、10年ぐらいかなというふうに思っております。

そのようにできるだけ抑えられるものは押さえながら。ですから、今年度に当たっても第五次長期総合計画の後期基本計画に基づきまして、各課で最優先に取り組む事業をできる限り予算化するためにも、時間外勤務手当など一律に5%減させていただきながら、そして必要最小限の費用で事業費を見積もって、今回提案させていただいたということもあります。

そんな中で、先ほどからお話し申し上げますように、統合中学校の新築工事の中で15億2,000万円という数字を令和7年度で出させていただいておりますので、ぜひひとつご理解いただければというふうに思っています。（「投資のほう、例えば給食センターとかいずれ建てなくてはいけないもの、今のところ予定は立たないですね」の声あり）それはちょっと……（「ただ将来的にはやらないといけない……」の声あり）本当は給食センターも用地というか、中学校の西側の角のほうに用地があります。ただ、当初は考えていたらどうだということで、教育長のほうにも教育委員会のほうにも推進準備室のほうにもそういう話をしたんですが、年々こういう状況になってきて建てるまでもいかない。そして、今の現給食センターのほうをちょっとオーバーフローしながら、そして、まず少し我慢させていただきながら。そして、さっき言った健全化の数字を見ながら、私はいつまでもこれは持つわけではありませんから、ですからここ10年以内では考えざるを得ないだろうというふうには思っております。ただ、それは健全化と、あとは財政等々とにらめっこしながらやっていくしかないだろうというふうに思っております。

○議長（佐藤長成君） 8 番村上正文君。

○8番（村上正文君）　ありがとうございます。

本町の今後の財政を考えるに当たりまして、財政シミュレーションを可能な限り正確に把握することが重要だと思います。

令和5年9月頃に、町当局から一般会計の健全化判断比率と地方債現在高の推移という資料提供がございました。これは、統合中学校と認定こども園の建設に際し、事業費高騰の影響や長期的な財政見通しを理解するためのものですが、近年の予算規模などが資料のデータと大きく乖離し始めております。

また、平成28年度から令和12年度までの15年間を計画期間とする公共施設等総合管理計画がございまして、3年後の令和10年度に公共施設更新時期のピークを迎えるとうたわれております。この計画では、平成28年度以降30年間にわたって取り組むべき公共施設、インフラ施設の更新費用総額を146億円と推計し、年平均4億7,000万円が必要になると見込んでおります。しかし、統合中学校同様に、物価高騰等でこの見込みの事業費はもっともっと大きく膨らむものと考えております。

そこで、令和7年度を起点として、本町の今後の財政見通しを判断するためには、これらのデータを最新のものに更新し可視化して、行政サイドと議会、そして町民も共通認識を深める必要があると考えます。

先ほど、予算審査の際に資料提供いただけるというふうなお話でしたが、その資料というのはこういう最新のデータを反映した資料なのかどうか。そういうふうなことでデータの最新化の更新というふうなことでお伺いをいたします。

○議長（佐藤長成君）　町長。

○町長（村上英人君）　財政担当をしておりますまちづくり推進課長のほうから答弁させます。

○議長（佐藤長成君）　まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（高橋幸治君）　町長の命によりお答えいたします。

議員の皆さんに提供予定のデータ、町長が今申し上げた内容でございますけれども、令和6年度までの実績と令和7年度の予算額含めまして、令和7年度の予算額と、あとは統合中学校につきましては令和8年度で事業完了いたしますので、それまでの事業費のほうを入れ込みまして推計のほうを更新しております。そういったもののデータのほうを提供するような形で考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤長成君）　8番村上正文君。

○8番（村上正文君）　データ更新をしたもので提供いただけるということでよろしくお願いを

したいと思います。

それで、今現在、中学校統合後の廃校舎や校庭の利活用について検討が進められておりますが、統合中学校建設事業費が膨らみ続ける中、将来の世代にできるだけ負担をかけないよう、建設資金を回収するという観点で検討することも必要ではないかと考えます。

民間企業では、経営が困難になった場合、真っ先に行うのが人件費削減のための人員整理、次に、資産売却による資金確保と経営改善が一般的であります。町が自前の施設を持ち続けて利活用するならば、人件費や維持管理費等の経費がかかり続け、経営のスリム化は図れません。

そこで、住宅用地や工場用地、商業施設など、町が望ましいと考える用途を指定して、民間企業に売却することを真剣に検討すべきではないかと考えますが、いかがでございましょうか。お考えを伺います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 昨日ではありますが、お話をさせていただいたところもあります。詳細等について、どこの部分、あとは医師住宅も含めて、あとは松ヶ丘だとか詳細に昨日お話をさせていただいたところでもあります。そういったところを順次販売だとか指示をしておりますので、今年度に当たっては私の指示どおり、動いていただけるものというふうに思っておりますし、そのように昨年に当たっては、1か所ではありますが売却も進んだところでもあります。

ただ、中学校に当たっては、すぐに売却がいいのかどうか。乗用車しか入っていけないところをそれだけ大きな面積があっても、何て言うの、工場だとかそういった企業が本当に受けてくれるかどうかという、いろいろただネットで流せばいいってことではないと思うんですね。ですから、その辺をしっかりと見合せながら対応していきたいというふうに思っております。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） 同僚議員に私の聞きたいことを全て聞いていただいたので、ちょっとつながるところはあるんですけども、これだけ大きな予算を組むことになって、起債が昨年に引き続き14億円、今年13億円ということで、学校建設のための起債として当初は14億円で済むというふうに見積もっていたので、その倍の起債をすることになってしまったんだなと私は考えております。

その財源を確保することは起債でできるんですけども、将来負担がやっぱり心配だと。町

の歳入を増やしていくとか改修も必要だということで同僚議員が言っていたんですけども、私はもっと必要なのは、事業のスリム化がもっと必要なのかなと私は思っているんですけども、この事業のスリム化がこの予算書を見るとちょっとそこまで見えてこないんですけども。町長、去年の予算と比べて今年この事業を減らしたとか、ここはちょっとやっぱり今までは多くしすぎたんじゃないかとか、そういうのがもしあれば教えていただきたいんですけども。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） スリム化ということはちょっとおかしいかと思うんだけど、各課にある程度ここまで来るまでの予算、大体10億円ぐらいオーバーしていたんです。各課合わせて。だけれども、ここまで持ってくるために各課の皆さんに理解をしてもらったり、そして担当まちづくり、あとは副町長にも中に入ってもらったり、そうやっていろいろと入っていただきながら、この健全財政を維持していくためにも。でも、やりたいことはたくさんあるんですね、各課とも。だけれども、そうもいかないの、その予算に見合った最低限やっていくように。ですから先ほどもちょっとあったんですが、人件費を減らすのもあるのではないかと。それと資産の売却ということも、全くそのとおりなんです。だけれども、そうもなかなかね、この1万人の町で、そして四季折々の農業と観光の町、そして福祉向上を含めてこれを対応していくためには、そんなに人件費を下げるということもなかなかいきませんし、今、人を採用するのが大変厳しい時代に入ってきています。そんな中で今日もちょっと職員採用の関係あるんですが、いろんな本当に毎年毎年厳しくなっています。そんな中で、真剣になって本当にやっていますので。ですから、おっしゃられることはよく分かります。徹也議員のいろんな会報誌の中でも蔵王病院の建設をしたらどうだとか、そんなことしたら本当に、いつも一般質問等々でお話しますように、何でもやりたいんです。だけれども、蔵王病院を新しいものに余裕があれば造ってもいいんですよ。だけれども今は、例えば医師を派遣してもらって、医師を採用していくのに大変厳しいんです。そういう時代に入ってきているんです。そういったことで、なかなか、仮にお金があったとしても病院を造ることが本当にいいのかどうかという、そういった一つの事例なんです。そういったことを優先順位を決めながら対応しているわけでありまして。

それとあと、財政の状況はいつからだ、あしたから審査ですか。あしたということは来週から。来週から審査に当たって数字、そしてあと、グラフの状況等々を皆さんにお渡しさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（佐藤長成君） 1 番平間徹也君。

○1 番（平間徹也君） 町長の苦労は大変私も理解しております。私の会報誌にまで言及していただいております。

私がふだんから言っているのは、優先順位と、どこまでが公益でやるべきことで、どこまでが私的機関というか民間規模でやらなければいけないかと、そのすみ分けがもっとしっかり必要なのかなと。だから事業の取捨選択が必要だと思っていて、私が気になっているのは委託費だったり各種団体に対する助成金がちょっと多額になっている部分もあるんじゃないかと。民間で賄える部分なのにそれをできていない、ちゃんと精査しているのかというのが聞きたいです。例えば観光物産協会に対しての金額が同額なんです。ずっと1,887万円とか。えぼしスキー場の町道の3キロメートルの融雪道だって、あれも一番最初は民間のえぼしスキー場さんが大変だからという理由で、町で負担しようかと始まったわけじゃないですか。そこはやっぱり毎年の決算で審査していく、金額を変えたり、減額したり増額したりするというような審査が必要だと思うんですけども、それはやっているんでしょうか。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） この当初予算に当たっての個別案件なので、間違っていることを今言っているのも、全く同じことを一般質問で今度聞いてきてください。6月でも結構ですから。

あくまでもえぼしスキー場の路線なんだけれども、これ町道ですから、町が助成するのは当たり前なんです。ただ、スキー場が黒字を出したので、黒字を出している間はひとつ頑張っていただけないかということで、先方の社長のほうに話をしながら。蔵王町だって今30%の役員でありますから、株を持っているわけですから。ですから大変なときは町のほうも応援せざるを得ない。だけれども、黒字になっているときにはぜひひとつ除雪は自らやっていただきたいと。そういったことをやっているのも、今のこれは令和7年度に対しての当初予算に当たって総括でありますので、ちっちゃな部分なんですよ、今おっしゃっているのは。本当小さな、だからこれは農林観光課長に聞くべき（「建設課長」の声あり）どっちでも同じなんだけれども考えは。スキー場全体的には農林観光だけれども、道路の問題については建設課だとか。ただ、建設課の課長はそこまで分かんないと思うので、全体的なスキー場との関係からいった場合には農林観光だろうというふうに思っています。そのように、そういったものについての今の答弁云々ではないので、もう少し総括質疑でありますので、ぜひひとつその辺ご理解いただきながら。もう4年目ですから。5年目に入ったかな。よろしく願いいたします。

○議長（佐藤長成君） 平間徹也君、総括的なことで質問願います。

○1番（平間徹也君） 町長がそういうふうに言うだろうなというのが5年もやっているのでもう分かっているんです、私も。だから言ったじゃないですか。金額のことじゃなくて、あくまで施政の問題だと言ってるじゃないですか。だから別に、例えば観光物産協会とかえぼしスキー場とか、社会福祉協議会とかいろんな各種団体に補助金を出していますけれども、シルバー人材センターなんかも。金額が大きいところから言っています。私は。ちっちゃいところじゃなくて、その金額も含めて費用対効果を考えて、町でちゃんとしっかり審査していれば同じ金額で毎年上げて予算額上げているなんてあり得ないじゃないですか。だから審査をしていますかと聞いているんです。私は。そこだけ教えてください。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 一定のルールがあるんですね。それを決めて、その団体と、そしてそれに対応してやっていますから、まず一番いいのが今出たので、観光物産の一つの例を担当課長から話させます。これは詳細で言うべき問題じゃないんだけど、ちょっとそういったことをやっているとかやってないとはっきり言ってあげて。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） お答えいたします。

一例でございますけれども、これにつきましては昨年の10月からいろいろ各種団体と協議を行いながらいろいろ予算を決定しているところでございます。

本来であれば、今話があった協会につきましても赤字経営ということで、大変な思いをしているというような形でも増額の話がありますけれども、町の予算ということでいろいろ精査しながらしっかりした予算を今回提案させていただいているところでございます。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。7番馬場勝彦君。

○7番（馬場勝彦君） ちょっと一つ考え方として質問させていただきます。予算編成につき、また、財源のところは同僚議員が詳細質疑をしたので。

まず、大変気になったのは、今回の町長の施政方針。これを読ませていただいて、正直なところちょっとがっかりしたというのは、令和6年のときの施政方針と大きく変わるところもないし、町長は令和7年度はどういう考えを持って予算を提案するのかなというのが、正直なところ読み取れなかったというのが私のざっくりした感想でした。

そういう中で予算書を見たときに、やっぱり財政が厳しくなるという中で、どうしても歳入という分の中でちょっと見させていただいたんですが、町税関係の見込額というものが、今

の安定しない社会状況の中で、増減で予算を組むというのはできないのかなと思っており
ました。

昨年、町税に関して当初予算で上げた数字が、もし、何て言うかな、そこまで金額上がら
なければ歳入欠陥というものも起きる可能性もあるんじゃないかという質問をした記憶を持っ
ています。今回、令和6年度の町税関係における歳入で、現年度決算額が出ています。予算
額じゃなくて見込額。これに対して今年度の現年度見込額という部分の数字に対して、やっ
ぱり若干不安視を持っております。そうした場合に、ある程度の収入、もう少し伸びるとい
う部分を持ってこの歳入額を出してきたのか。恐らくこれが目いっぱいというか、大体マッ
クスに近い税収になるんじゃないかという捉え方の中で今回のを出してきたのか。まずその
捉え方についてお伺いをしておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 数字は全部私が頭に入れているわけではないですし、担当のほうからま
た……（「全体でいいです」の声あり）令和6年度と令和7年度の関係では、6億2,600万円
ぐらいであります、プラスをさせていただいて……（「いや、町税だけです」の声あり）
町税だけね。町税は1,600万円減ですね、町税の場合は。その中でも特に地方交付税の関係な
んですけれども、これがちょっと1億6,000万円ぐらい増えております。普通交付税の増であ
りますが。それとあと、当然ここ中学校のところであります、5億3,800万円ぐらいプラス
で、トータル的には85億5,600万円のうちの6億2,600万円前年よりも増になっております。

そういったことで、ただ、今回ちょっと……（「町税だけで、町長お願いします」の声あ
り）町税はさっき言ったとおりであります、ふるさと納税の関係が思ったより数字上がっ
てきていますので、昨日もちっとお話ししたとおりであります、6億円を超すのではな
いかというふうに思っております。そういったところにも今後力を入れていかなければとい
うふうに思っております。

○議長（佐藤長成君） 7番馬場勝彦君。

○7番（馬場勝彦君） 詳細は特別委員会でやります。

今言われた交付税とかふるさと納税というのは、正直言ってその年、そのときで若干変わ
ります。交付税においてもやっぱり国の総務省と財務省の考え方によって、必ずこちらが望む
額が来るとはできないわけですね。そうした場合に、ある程度見越して確実というのはやっ
ぱり町税関係なので、その見方というのがやはり財政運営においてはかなりどうなるかとい
う部分が心配になっていましたので、それはあとは聞きます。

あと、次に、先ほど同僚議員の質問の中で、町長の答弁の中で、今回各課が約10億円以上の予算請求があったという答弁がありました。正直言ってその言葉を聞いてうれしかったです。というのは、やっぱり各課が新たにいろいろやろうという、職員がそういう意識があるということは、すごく安心したなという思いがあって、すごく職員頑張っているんだなと捉えさせていただいております。ただ、その中でやはり気になったのが、どうしても今後の財政上厳しい状況の中で、なかなか投資的な事業を組めない。実際、今回も主要施策見れば、ほとんど前年度の継続で、それに伴う予算も若干微増ではありますけれどもそんなに変わっていない。簡単な主要施策の説明も、残念ながら昨年とほとんど同じような表現しかされていないと。そうすると、今回どういう行政を進めていくのかなと。逆によく言われます。投資なくして成長はないという言葉が一般的でありますので、金銭的に投資ができないというのはこの財政上厳しいです。ただ、将来に向けてそのきっかけというのをつくっていかなければいけないと思うんですよ。そうしなければ、本当の意味での投資関係においてはなかなか進まないと思っておりますので、町長の考え方、令和7年度の当初、恐らく町長も満足しているような金額ではないと思うんです。もっともっと町長の考え方を反映すれば、もっといろんな事業に予算をつけていきたいというのが本音だと思うので、やっぱりそれが現実できないのであれば、せめて将来に向けてこういうこの事業には財政的に負担はできないけれども、種をまくような形の中で進めていかなければならないという、私はそのように考えているんですが、町長はそういう部分において、どのような見解を持ちながら令和7年度事業執行をしていく考えなのか、お考えを伺いたいと思っております。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 昨日もお話しさせていただいておりますけれども、まず一つは、この五、六年の中で移住定住なんかでも、本来はマスコミが取り上げてもいいぐらいの蔵王町は物すごい移住定住、ここ7年ぐらいだと物すごい数字上がってきているんですよ。そして、移住定住だけでもそういった、そして農業の後継者の問題も含めて。ですからこの数字には、まず一つは、基本的に各課の皆さんに私言っているのは、課長等の会議、あとは月1回の朝礼の中でもお話し申し上げているんですけれども、皆さん予算をつくるときに、それぞれの課で真剣に、これをやりたい、あれをやらなくてはいけないという、そういったものをどんどんどんどん上げてくださというの、それが10億円だったんです。ただ、やはりその中で優先順位を決めさせてもらいながら、ただ、そういう課のやる気を持たせなくてはならない。また、どういったものが優先的にやっていかなければいけないかということを私たちも

把握しなくてはならない。そのために各課の皆さんにやってもらう。そして、今年度は駄目かも分からないんだけど、二、三年後には必ず優先順位でやっていかなければいけない、そういったことでさせてもらっていますので、その辺は萎縮させるようなことはしてはいけないと思いますし、そのようにやって、そしてあと2年、3年後には優先順位をしながらやっていくと。

それとあと、この統合中学校を工事、新築をやるだけで10億円、それに対して周辺整備の道路の整備から下水道から水道から全部入ってくるわけですね、関連して。ですから、ただ中学校だから教育問題だけかということではなくて、ですから今、それでも技術者がいない中で大変だというのは担当課なんです。そういったことで水道に当たっても下水に当たっても建設課に当たっても、本当に大変な人手不足の中でやっているのです、決して人が余剰にあるということではないということをぜひひとつご理解いただければと。

そんなことで、令和7年度の主な新規事業でありますけれども、昨日もいろいろやっていますが、町有バスの運行管理業務の委託等と、それとあと、自治体の情報システム標準化導入の業務をしたり、あと、高齢者に対する带状疱疹の予防接種委託、それと宮城オルレ蔵王コースの造成事業であります。あとは、向山地区補助整備事業用地地形図作成業務、それと遠隔式自走、これも区長さん1台だけ買って、これも大体700万円ぐらいするんですよ。そして、それをよければ小学校単位ぐらいに徐々に持っていこうということでもあります。そういったことで、町のあと逆川淡島線道路の改修、新しいものでは総合運動公園の遊具関係のあれであります、これも7,500万円ぐらいであります。それと、タブレットの購入。更新時期に今ちょうど来ているんです。あとは、今日もある町の、載っていましたが、中学校の給食費の無償化を今年度からさせてもらおうと。ですから、そういった面で目玉もつくりながらいろんな政策的なことも含めながら、一応予算づくりしたつもりでありますのでご理解いただきたいと思いますし、職員の皆さんにやる気を持たせながら考えていかなければいけないと思います。いつもいつも10年間も同じ、はっぱだけかけて、それではいけないので、やはりそのところで、やはりきちんと各課のことも入れながら対応させていただいていますので、どうぞご理解賜りたいというふうに思っております。

○議長（佐藤長成君） 7番馬場勝彦君。

○7番（馬場勝彦君） ありがとうございます。

町長、私、資料見えていますから、今言われた新規事業も把握しています。やはりさっき述べたとおり、職員がいろいろ政策を出したということに私はすごく喜んだと言いました。しか

し、財政措置ができないから、なかなかそれを事業として組めなかったと。でも、やはり財政厳しくて、それは事業として組めないのがたくさんあるはずなんですよ。しかし、これ行政サービスって住民に対してって単年度で終わるものって、建設工事とかそういうのだけなんですよね。あとは長年続けなくちゃいけない。ということは、やっぱりどこかでちょっと予算が取れますからと始まったって、成果はそれほど望めないわけですよ。だから、こういう厳しいときだからこそ来年、再来年度のことも考えながら、一つのきっかけ、種まきですよ。予算として措置はしないんだけど、やっぱりそこに持っていくための企画の練り方とかどういう方向性とか、そういう考え方をある程度町長が持っていなければ、職員は将来の投資に向かったの仕事をやっていかないと思うんですよ。そういうことを意識していれば、同僚議員も言いましたけれども、各種事業の見直しというのは、見直しというのは単にやめろとかじゃないんですよ。やっぱり民間の力をお借りできる部分はお借りしましょうとか、やっぱりそういう展開の仕方という方向性もその中から見いだせるんじゃないかと。だから、町長は今回の予算の中で、恐らく自分が思うような予算は組めなかったと私はそうくみ取ったんです。そういう中で、町長が将来に向けてどのような、予算はできないんだけど進むような考え方があるかという確認をしたかったんです。

もう一度、もしあればお伺いしておきたいなと。それによっては行政改革推進本部の持ち方、考え方というのも若干違うし、そこには今度、財政における検討会議という持ち方も内容も変わってくると私はそう思っていますので、やはりその辺の町長の考え方をちょっと確認をさせていただいてから、詳細、特別委員会のほうに臨みたいなと思っておりましてので、その辺よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 先ほどお話ししたとおりであります、それとあと、各委員会というのがあるんですね。この財政をやっていくに当たっても。それとあと、健全化を持っていくためにも、いろんな庁舎内の検討会もありますでしょうし、あとは民間人も入れたりする、そういったことをしながらいろんな各方向からさせていただいておりますし、そういった面でなかなか自分の思うような、それはやはり一番町民と接しているのは私でありますので、ですからそういった面ではいろんな声がたくさん入りますし、何でも声を聞いて、それに全部対応してあげればいいんだけど、そうもいかない。そういった面で優先というのをさせていただいておりますし、また、あとは限られた予算の中で精いっぱいやってきているということですし、しかも財政と私と副町長だけで決めているのではなくて、各課の皆さん、そ

していろんな方々にもご理解いただきながらこの予算をつくってきているということをぜひひとつ、分かっていて聞いているわけでありますが、そういったことをよろしく願いいたします。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。（「なし」の声あり）

それではお諮りいたします。

本案に対する質疑はこの辺でとどめたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、本案に対する質疑はこれをもって打ち切りいたします。

お諮りいたします。本案は慎重な審査を行うため、蔵王町議会委員会条例第5条の規定により、議長を除く全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、予算特別委員会に審査を付託したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、議長を除く全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、議案第6号令和7年度蔵王町一般会計予算については、予算特別委員会に審査を付託することに決しました。

ここで10分間休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午前11時05分 再開

○議長（佐藤長成君） それでは再開いたします。

休憩前に引き続いて、審議を行います。

日程第 4 議案第 7号 令和7年度蔵王町国民健康保険特別会計予算

日程第 5 議案第 8号 令和7年度蔵王町宮財産区特別会計予算

日程第 6 議案第 9号 令和7年度蔵王町介護保険特別会計予算

日程第 7 議案第10号 令和7年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算

日程第 8 議案第11号 令和7年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算

日程第 9 議案第12号 令和7年度蔵王町水道事業会計予算

日程第10 議案第13号 令和7年度蔵王町下水道事業会計予算

○議長（佐藤長成君）　続きまして、日程第4、議案第7号令和7年度蔵王町国民健康保険特別会計予算、日程第5、議案第8号令和7年度蔵王町宮財産区特別会計予算、日程第6、議案第9号令和7年度蔵王町介護保険特別会計予算、日程第7、議案第10号令和7年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算、日程第8、議案第11号令和7年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算、日程第9、議案第12号令和7年度蔵王町水道事業会計予算、日程第10、議案第13号令和7年度蔵王町下水道事業会計予算、以上7件を一括議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長。

〔町長　村上英人君　登壇〕

○町長（村上英人君）　ただいま一括上程されました議案第7号から議案第13号まで、7件の各種特別会計予算について、それぞれ提案の理由をご説明申し上げます。

初めに、議案第7号令和7年度蔵王町国民健康保険特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ16億1,100万円とするものであります。前年度より900万円、0.6%の減となりました。

次に、第2表債務負担行為については、新たに1件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、議案第8号令和7年度蔵王町宮財産区特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ216万8,000円とするものであります。前年度より25万3,000円、10.5%の減となりました。

次に、議案第9号令和7年度蔵王町介護保険特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ14億8,400万円とするものであります。前年度より1億4,400万円、10.7%の増となりました。

次に、第2表債務負担行為については、新たに1件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、議案第10号令和7年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9,290万円とするものであります。前年度より1,080万円、5.9%の増となりました。

次に、議案第11号令和7年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算についてご説明を申し上げます。

本案は、予算第3条の収益的収入及び支出において、病院事業収益を4億787万1,000円に、病院事業費用を4億5,690万8,000円にしようとするものであります。

次に、予算第4条に定める資本的収入及び支出については、資本的収入を7,395万3,000円に、資本的支出を8,947万5,000円とするものであります。

次に、予算第5条の企業債については、医療施設等整備事業の限度額等を定めようとするものであります。

次に、議案第12号令和7年度蔵王町水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

本案は、予算第3条の収益的収入及び支出において、上水道事業収益を4億4,899万6,000円、簡易水道事業収益を314万6,000円に、上水道事業費用を4億3,388万9,000円、簡易水道事業費用を537万6,000円にしようとするものであります。

次に、予算第4条に定める資本的収入及び支出については、上水道事業資本的収入を1億5,587万円、上水道事業資本的支出を2億5,736万2,000円、簡易水道事業資本的支出を3万1,000円とするものであります。

次に、予算第5条の債務負担行為については、新たに2件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、予算第6条の企業債については、老朽施設更新事業等の限度額等を定めようとするものであります。

最後に、議案第13号令和7年度蔵王町下水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

本案は、予算第3条の収益的収入及び支出において、下水道事業収益を2億6,548万2,000円に、下水道事業費用を2億8,385万2,000円にしようとするものであります。

次に、予算第4条に定める資本的収入及び支出については、資本的収入を1億4,986万5,000円に、資本的支出を2億2,610万円とするものであります。

次に、予算第5条の債務負担行為については、新たに2件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、予算第6条の企業債につきましては、公共下水道事業及び流域下水道事業の限度額等を定めようとするものであります。

以上、令和7年度各種特別会計予算7件について一括でご説明申し上げましたが、本案につきましても、予算特別委員会において詳細に審査されると思いますので、慎重にご審議の上、原案どおり可決決定くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（佐藤長成君） 提案理由の説明が終わりましたので、一括議題といたしました7件について一括質疑に入ります。

一括議題とした7件につきましても、予算特別委員会に審査を付託する予定でありますの

で、質疑は政策的なもの、あるいは総括的なものについて質疑をされるようお願いいたします。

それでは、一括議題といたしました7件に対する質疑を許します。質疑ありませんか。7番 馬場勝彦君。

○7番（馬場勝彦君） 考え方で1点で、議案第9号の令和7年度蔵王町介護保険特別会計事業予算についてちょっとお伺いしておきたいんですが、今回1億4,000万円ほど前年度に比べ増になっています。このうちの約90%、約1億3,000万円ぐらいかな。これが介護給付費のほうの利用者の関係で増になったという見方をしています。前年度のときも介護保険に関して、やはり給付が年々増えてくるということはもう明らかであったわけです。その段階で、やはりそれをやっぱり静かに抑えていくには、どうしても予防介護事業ということが重要だという私は総括でも質疑をしました。しかし、今回の予算の中で、一番大切だと言っている予防介護事業の予算が前年度より削減されて提案、計上されています。本来、やはりこの事業をしっかりやっていけば元気で過ごせるわけですよね。やはりそれは単に、やっぱり介護を受ける側もつらいものなんですよ。介護する側も大変ですけども、介護を受ける側もつらいんですよ。ですから、できれば皆さん元気で、そういうものにお世話にならないような形の中で、生活していくというのがベストだと私はそう思っています。そのためには、やはり介護予防事業というものを充実させなければならないという考えの下、前年度も総括並び予算審査の中でも質問をさせていただきました。

その上に立って、なぜ本当は重点事業として考えなくちゃいけない介護予防事業が減額になっていくのか、その辺の考え方についてお伺いをしておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 介護保険特別会計の関係ですが、僅かではありますが増になっているんですね。地域支援事業であります。

そういったことで、今言わんとすることはよく分かります。ただ、実は今、介護保険の特別会計の問題なんですけれども、今ちょっと岐路に、ちょっと厳しいところでもあります。これ3年に1回見直しなんです。そんなことで前回見直しさせてもらったんですけれども、令和8年度までこの事業を、ただ、今持つか持たないかぐらいのこの介護保険、また、あとこの施設に入る方も急増してきているということでもあります。そういったことで、予算がなかなか今の介護予算の中で本当に対応できる、このあと1年ありますが、このできるかどうかという厳しいところでもあるわけです。しっかりその辺見ていきたいというふうに思っ

おります。

○議長（佐藤長成君） 7 番馬場勝彦君。

○7 番（馬場勝彦君） 私が言っているのは、予算書の中の介護予防事業というピンピン教室とか事業のやつですよ。それが前年度で九百何万円、900万円ちょっと。金額言いますか。ちょっと待ってください。私は一般介護予防事業ということで質問させていただいているんです。前年度の当初では961万6,000円という予算化をしています。当初で。今年度の当初予算が849万7,000円なんですよ。主立った事業は、生涯ピンピン教室、はつらつ長寿支援事業、温泉で・い〜サービス、あがらいんかふえ、この事業を言ったんです、私。減額になっていたというのをね。だから、町長が言うのは分かるんです。私が一番心配しているのは、介護保険って3年間介護料を改定できないんですよ。令和8年度までなんです。令和6年度から新しく改定された中で、当時1億2,000万円だか1億3,000万円の基金があったんですよ。結局あのときも言いましたけれども、これをきちっとしていかなければ3年間でこの基金全部なくなりますよと。そのためには介護予防事業を充実させなければこの基金は持たないよという質問をしてたわけですよ。そのときに町長は、やはり予防介護に力を入れながらというたしか答弁をいただいたので、だったら今年度それをしっかりやっていかなければならないはずなのに、なぜ当初予算を減にしてきたのかというその考え方を私は総括としてお聞きしたかったんですよ。これをむしろ増やしていかなくちやいけないはずなんですよ。介護事業だけではなく、一般会計に入りますけれども、保健福祉課の事業も含めてタイアップしながらやっていかなければ、やはりこのままでは介護保険、町長、運営大変厳しい状況になります。次の改定のときは、もう想像したくないような介護保険料というものを提示しなければならないようなものも考えなくちやいけないような状況になってきているということなんですよ。ですから、今回のこの事業というのは、私は物すごく充実な事業だなというのは、今回の今年度の事業で、次の改定の主たる参考になるんですよ。介護保険事業というのは。ですから、今回、介護保険事業を進めるには改定から2年目というのが一番大切なんです。だから今回の予算書の考え方をちょっと説明して欲しかったんです。もう一度お願いします。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 言わんとすることのその内容については、担当課長のほうから答弁させたいと思っております。

○議長（佐藤長成君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（大槻充夫君） お答えいたします。

議員さんおっしゃるとおり一般介護予防費のほうで減額になっております。これは、今までやっていた事業を町職員直営でやるものを、民間のほうにお願いしたら引受けてくれる企業があるということで、そちらのほうに同じ事業を委託してすることにしましたので、この部分は町の予算ではなく、そっちの民間のほうで事業を行うということで、事業そのものは継続して行っていくと。あと、言われるように新しい事業ということですが、なかなか職員の人員も少ないものですから、なかなか新しい事業には取り組めないということは実情がありますので、その辺もご理解いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤長成君） いいですか。

ほかに質疑ありませんか。（「なし」の声あり）

それではお諮りいたします。一括議題といたしました7件に対する質疑はこの辺でとどめたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、一括議題といたしました7件に対する質疑は、これをもって打ち切りといたします。

お諮りいたします。一括議題といたしました議案第7号から議案第13号までの7件につきましては、予算特別委員会に審査を付託することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、議案第7号から議案第13号までの7件につきましては、予算特別委員会に審査を付託することに決しました。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって解散いたします。

大変お疲れさまでした。

午前11時23分 散会